

ダイバーシティ事業 国際人事交流プログラム（招聘）
研究交流報告書①

報告日：2019年4月1日

招聘者氏名	佐藤 春実
被招聘者氏名	SUMAPORN KASEMSUMRAN
被招聘者 所属機関・職位	Kasetsart Agricultural and Agro-Industrial Product Improvement Institute (KAPI), Thai Researcher
<p>2019年3月17日に来日し、18日19日の2日間にわたって神戸大学鶴甲第2キャンパスでChemometricsのWorkshopを行った。20日には計量化学に関する議論を行い共同研究の可能性について検討した。21日、22日は神戸大学学部生・女性院生とともに女性研究者の状況や改善方法等、ダイバーシティマネジメントについて意見交換を行った。以上のように、神戸大学の女性研究者と計量化学に関する研究交流を行うとともに、女子学生のロールモデルとして本学の学生や若手研究者と交流を図った。</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>ワークショップ開催については、KASEMSUMRAN博士と事前に何度もメールでやり取りをし、参加者の知識レベルやワークショップの進め方など細かい点まで打ち合わせを行った。</p> <p>当日は、学生の理解を確認しながらワークショップを進行し、質問も随時受け付け、解析ソフトの使用法やデータ解析については各自のレベルやペースに合わせて細かい指導を行った。</p> <p>【親睦会】</p> <p>親睦会には研究室の学生が参加し、タイの大学や研究所での女性研究者の割合や働き方などの他、文化についても学ぶ機会を得た。研究についての意見交換やディスカッションを行うと共に、女子学生のロールモデルとして本学の学生と交流を深めた。</p> <p>【質問受け】</p> <p>ワークショップ以外にも、個別に質問を受け付け、本学の学生とのディスカッションを積極的に行った。ケモメトリックスの手法を用いたデータ解析を学ぶことにより、膨大なデータやノイズと信号が入り混じった情報から必要な情報だけを引き出す技術を身につけることができる。今回のワークショップでは、できるだけきめ細かい指導を心掛け、理解を深めることを重視した。</p> <p>【今後の共同研究等の打ち合わせ】</p> <p>今後の共同研究を発展させるために、日本学術振興会により二国間交流事業（共同研究）への応募について打ち合わせを行った。実際には、来年度のJSPS二国間の助成金申請を考慮しており、申請内容について議論し、役割分担や研究内容など、共同研究の具体的な進め方について話をする機会を得た。2019年6月に日本学術振興会により応募が開始されるため、今後もメール等でやり取りを頻繁に行い、今後の共同研究に発展させたい。</p>	

ダイバーシティ事業 国際人事交流プログラム（招聘）
研究交流報告書②

報告日：2019年4月1日

招聘者氏名	佐藤 春実
被招聘者氏名	Yeonju Park
被招聘者 所属機関・職位	Institute of Molecular Science and Fusion Technology, Kangwon National University research professor
<p>【打ち合わせ】 来日後すぐに、ワークショップの打ち合わせを行った。メールでは何度もやり取りをしていたが、実際に顔を合わせてワークショップに関する細かい事前打ち合わせを行った。(2019年3月23日)</p> <p>【親睦会】 親睦会には研究室の学生が参加し、研究内容だけでなく、韓国の大学での研究室の様子や、文化について学ぶ機会を得た。学生の中には自己紹介を英語で行うなど、積極的に交流を深めている学生もいた。(2019年3月24日)</p> <p>【ワークショップ】 25日、28日の2日間にわたって神戸大学鶴甲第2キャンパスで2DCOSのWorkshopを行った。ワークショップの詳細についてはセミナー開催報告書にて報告する。(2019年3月25日、28日)</p> <p>【質問受け】 ワークショップでは時間がなく分からなかったところや、さらに深く学びたい学生に対し、研究室にて質問受けを行い、個別に対応した。これにより、本学の学生に対してより細かい指導をすることができ、質疑応答を通じて英語でのコミュニケーション能力の向上に努めた。 学生からの質問は、解析結果の解釈の仕方について、データ解析のための前処理、解析範囲の設定の仕方など、実践的な内容が多く、ワークショップおよび質問受けが学生にとって非常に有益であったことがうかがえる。 (2019年3月26日、28日)</p> <p>【ダイバーシティフォーラム】 ANAクラウンホテルで行われた本学主催のダイバーシティフォーラムに出席した。韓国および日本でのダイバーシティの状況などについて意見交換を行い、交流を深めた。(2019年3月27日)</p> <p>【共同研究の打ち合わせ】 現在行っている共同研究について、研究の進捗状況と今後の展開・方針、新たな共同研究の可能性などについて議論した。またダイバーシティマネジメントについても意見交換を行った。(2019年3月29日、30日)</p> <p>以上のように神戸大学の女性研究者と2DCOSIに関する研究交流を行うとともに、女子学生のロールモデルとして本学の学生や若手研究者と交流を図った。</p>	

その後の研究交流の進捗状況
(2020年2月現在)

韓国のパク先生とは研究室間で共同研究が本格的にスタートし、2019年12月にパク先生が再度来日して当研究室にて実験を行った。

タイのカセムラムラン博士とは、2020年度の二国間交流事業の予算申請を行った。残念ながら不採択であったが、申請書の評価は高く、来年度も共同研究での予算申請をする予定である。